令和3年度 安全保障国際シンポジウム

技術革新と安全保障 一東アジアの戦略環境に及ぼす影響―

防衛省 防衛研究所

防衛省防衛研究所

編集·発行 防衛省防衛研究所

©2022 The National Institute for Defense Studies and the individual authors 〒162-8808 東京都新宿区市谷本村町 5-1 www.nids.mod.go.jp

防衛研究所は、防衛省の研究・教育機関であり、防衛・安全保障に関する調査研究、 幹部自衛官及び事務系幹部職員の教育を行っています。

本書は、防衛研究所が開催した令和3年度安全保障国際シンポジウム(オンライン形式、2021年12月8日)の論文集です。本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも執筆者の所属する組織や政府の見解を代表するものではありません。

本書の全部又は一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合は、出版者からの書面での許可が必要です。

ISBN 978-4-86482-110-0 翻訳・DTP 制作・印刷 (株) インターブックス

目 次

議長総括	i5
第1章	意思決定中心戦の出現
	ブライアン・クラーク19
第2章	新興技術がアジア太平洋地域の戦略環境にもたらす 影響について 我が国の視点を中心として
	藤田 元信
第3章	テクノ・セキュリティ国家としての中国の台頭とその戦略的含意 タイミン・チェン
第4章	「技術革新と安全保障」: 技術報国日本のイノベーション戦略 角南 篤
第5章	インド太平洋における技術的変化と将来の安全保障: オーストラリアの視点
	マルコム・デイビス75

第6章	軍事における AI の波: イネーブラーと制約	
	マイケル・ラスカ101	
第7章	米中テック戦争:新たな地政学の夜明けか	
	イワン・ダニーリン 113	
執筆者略歴		
「安全保障国際シンポジウム」 プログラム		